

令和5年度 経営改革プラン

団体名	株式会社神戸ウォーターフロント開発機構	
設立年月日	令和3年5月31日	
団体の設立目的・沿革	<p>神戸港のウォーターフロントエリアは、平成23年3月に策定された「『港都神戸』グランドデザイン」の土地利用方針に沿って再開発を進めている。ウォーターフロントのまちづくりは広範囲かつ多岐にわたり、長期に及ぶことから、全体の将来像を踏まえつつ、多様な都市機能、統一感のある街並み形成を誘導する仕組みが重要となる。</p> <p>そのため、順次形成されるエリアのマネジメントや地域活性化等の先導的役割を担い、魅力的で持続性のあるウォーターフロントの形成を目指すことを目的として、株式会社神戸ウォーターフロント開発機構を設立した。</p>	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	まちづくり事業 <small>(まちづくりビジョン、エリアプロモーションの推進)</small>	港湾局ウォーターフロント再開発推進課
	再開発事業 <small>(事業要件の検討、事業実現に向けた取り組み)</small>	港湾局ウォーターフロント再開発推進課
	公共空間活用事業 <small>(都市利便増進協定に基づく公共空間の管理運営、民間事業者により開催されるイベント等への協力等)</small>	港湾局ウォーターフロント再開発推進課
代表者	代表取締役社長 岡口 憲義	

役職員数 (令和4年7月時点)	取締役		監査役		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		-	-
神戸市派遣職員	1	1	-	-		3	5
神戸市OB職員	1	-	-	-	-		1
その他	-	3	-	1	5	-	9
合計	2	4	-	1	5	3	15

財務状況(単位:百万円)	令和3年度	令和2年度	差引
経常損益	21	-	-
税引後当期純利益	14	-	-
販売費及び一般管理費	42	-	-
流動資産	220	-	-
流動負債	138	-	-
長期借入金(固定負債)	0	-	-
期末現金預金残高	180	-	-

■ 中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針 2025 期間中のミッション）

ミッション①	魅力的で持続性のあるウォーターフロントの形成
ミッション②	自立的な経営モデルの確立
ミッション③	専門人材の確保による活力ある組織づくり

■ 短期的なミッション（令和 5 年度のミッション）

ミッション①	効果的なエリアプロモーションの実施
ミッション②	再開発事業の推進
ミッション③	新たな自主事業の実践

■ 経営指標（令和 3 年度）

経営指標				令和 2 年度	令和 3 年度	前年度比増減	令和 2 年度実績中小企業実態基本調査による業種別平均値
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員 1 名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	-	2.338	-	0.173
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	-	22.12%	-	21.52%
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	-	8.61%	-	4.84%
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	-	94.12%	-	135.69%
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	-	159.24%	-	154.98%
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	-	42.99%	-	30.55%
持続性	自己資本当期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	-	13.49%	-	9.40%
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	-	100.00%	-	▲17.00%

■ ミッション工程表

ミッション名	令和5年度			令和6年度			令和7年度～					
中長期的ミッション												
魅力的で持続性のあるウォーターフロントの形成	マーケット調査・分析から民間投資の誘発、事業実現に向けた取り組み及び再開発のマネジメント											
自立的な経営モデルの確立	自立的な経営モデルの検討、実践			自立的な経営モデルの確立								
専門人材の確保による活力ある組織づくり	専門人材の活用による組織基盤の構築			専門人材の経験、ノウハウを生かした活力ある組織の形成								
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
効果的なエリアプロモーションの実施	過去に実施したプロモーションの効果検証			検証に基づく効果的なプロモーションの実施								
再開発事業の推進	リニューアル後の神戸ポートタワー運営開始に向けた取り組み 次期再開発に関する事業要件の検討、事業実現に向けた取り組み											
新たな自主事業の実践	都市利便増進協定に基づく公共空間の利活用 有料イベント等の実施による確立した収益構造の構築に向けた検討											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)	魅力的で持続性のあるウォーターフロントの形成 【KPI】観光客数（神戸港エリア）：700万人（令和7年）
		・地域の企業等との協働による再開発のマネジメント
		・官民連携の運営体制（民間企業からの増資の検討や人材登用）の構築
		・地域に密着した都市再生推進法人として、ウォーターフロントの公共空間の活用、広告収入の確保などによる自立的な経営モデルの確立
		・まちづくりやマーケティング等の専門人材の確保による活力ある組織の形成
		・リニューアル後の神戸ポートタワー運営や新港第1・2突堤間水域、第2突堤基部などの次期再開発にかかる事業実現に向けた取り組みの推進
		・神戸空港の国際線就航や、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見据えた、陸・海・空からの観光集客の強化・賑わいの創出

■ 市支援策の活用状況（令和4年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	